

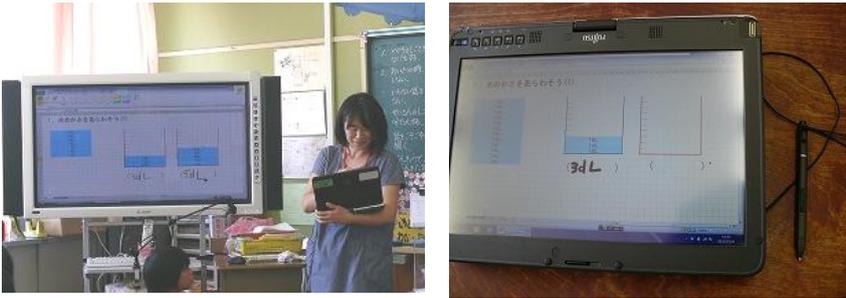
ICT授業活用実践事例共有シート

学校名	広島市立藤の木小学校	
実践者	森重 朋美	
活用事例分類 ※主な活用類型を一つ選択	D	A: 興味・関心の喚起 B: 説明の補助 C: 情報の共有 D: 思考の視覚化 E: 繰り返し・習得
学年	2年	
教科等	算数	
テーマ	たし算のひっ算	
使用機器・ソフト・コンテンツ等	Excel・電子黒板・タブレット PC	
どこで、どのように使ったか	ブロックを使用して、2位数+(1. 2位数)の計算の仕方を考えるのに使用	
児童生徒の反応	操作も簡単で興味・関心をもって取り組み答えを求めていることができていた。	
写真とコメント	<p>写真</p>  <p>※画像は、400×300ドット程度にリサイズして、右枠内に貼り付けてください。</p> <p>※写真はホームページなどに掲載しますので撮影アングルなどに配慮してください。</p> <p>※写真は2枚程度</p> <p>コメント 具体物(ブロック)机上に出して操作させると机上から落ちたり、ブロックを少しのことで動かしたりといった心配がなかった。操作も簡単で子どもたちも関心をもって取り組むことができた。パソコン上で操作し、ひっ算の書き方まで結びつけることができよかった。</p>	

ICT授業活用実践事例共有シート

学校名	広島市立藤の木小学校	
実践者	中平 禎子	
活用事例分類 ※主な活用類型を一つ選択	D	A: 興味・関心の喚起 B: 説明の補助 C: 情報の共有 D: 思考の視覚化 E: 繰り返し・習得
学年	2年	
教科等	国語	
テーマ	組み合わせた言葉をつかおう	
使用機器・ソフト・コンテンツ等	Excel・Word・電子黒板	
どこで、どのように使ったか	ワークシート1枚に5問ずつ配置し、イラストを動かしながら組み合わせた新しい言葉を作っていた。	
児童生徒の反応	イラストがあることで興味を持って取り組んだ。普段何気なく使っている言葉の中にも組み合わせた言葉があったことに気づいた	
写真とコメント	<p>写真</p>   <p>※画像は、400×300ドット程度にリサイズして、右枠内に貼り付けてください。</p> <p>※写真はホームページなどに掲載しますので撮影アングルなどに配慮してください。</p> <p>※写真は2枚程度</p> <p>コメント 低学年において語いを増やすことは重要だが日頃使っている言葉は必要最低限のわずかである。また、読書の習慣もなかなかついておらず言葉に接する機会は少ない。そうした中で語いをふやすには実際の場面と言葉をつなぐことである。そこで名詞と動詞に分け、それぞれでたくさんのイラストを用意し、その中の2つをくみあわせることで新しい言葉ができていることを理解させた。イラストがあることで児童はイメージをふくらませやすくどんな場面で使うのかこのようなものを表すのかをイメージできた。十分にイラストを組み合わせた言葉づくりを行うことで、イラストがなくても、こんな物はこう表現するのか、こんな場面は、こういうのだろうかと考えられるようになった。</p>	

ICT授業活用実践事例共有シート

学校名	広島市立藤の木小学校	
実践者	中平 禎子	
活用事例分類 ※主な活用類型を一つ選択	D	A: 興味・関心の喚起 B: 説明の補助 C: 情報の共有 D: 思考の視覚化 E: 繰り返し・習得
学年	2年	
教科等	算数	
テーマ	水のかさのたんい	
使用機器・ソフト・コンテンツ等	Excel・電子黒板	
どこで、どのように使ったか	単元全体を通して、思考の補助として使った。	
児童生徒の反応	手を使って学習することは、興味関心を高めた。教師の実物提示とPCとをつなぐことでかさに対するイメージももてたようだ。	
写真とコメント	<p>写真</p>  <p>※画像は、400×300ドット程度にリサイズして、右枠内に貼り付けてください。</p> <p>※写真はホームページなどに掲載しますので撮影アングルなどに配慮してください。</p> <p>※写真は2枚程度</p> <p>コメント</p> <p>実物を使っての操作は、教師がリットルますやペットボトル等を使って行うが、ここにさせることは不可能である。そこで、PCを使って1dlを動かし、1個で1dl、2個で2dl・・・10個で10dl=1lを理解させた。自分の手で動かして升にいれる操作は児童に量感をイメージさせるのに役立った。</p> <p>その後の1l 5dl=15dlの換算やかさのたし算、ひき算でも実際に目に見える操作は児童の理解を進めた。低学年においては実物の操作をすることが大事だがそれが難しい場合はこのようなPCでの学習が有効だと感じた。</p>	